

製品名: CXCR4 (8E12) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe09561**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:20-1:500,ICC/IF 1:20-1:100
分子量	40kDa

抗原情報

遺伝子名	CXCR4
別名	CD184 ; CXCR4; C-X-C chemokine receptor type 4; FB22; Fusin; HM89; LCR1; LESTR; NPYRL; SDF-1 receptor; Stromal cell- derived factor 1 receptor;
遺伝子 ID	7852.0
SwissProt ID	P61073
免疫原	ヒト CXCR4 の合成ペプチド

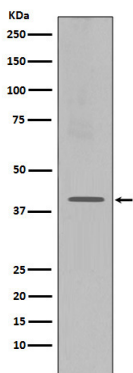
背景

C-X-C ケモカイン CXCL12/SDF-1 の受容体。細胞内カルシウムイオン濃度を上昇させ、MAPK1/MAPK3 の活性化を促進することでシグナル伝達を行う。細胞外ユビキチンの受容体として機能し、細胞内カルシウムイオン濃度を上昇させ、細胞内 cAMP 濃度を低下させる。造血および心室中隔形成に関与する。また、消化管の血管新生にも重要な役割を果たしており、おそらく血管の分岐や内皮細胞のリモデリング過程を制御することによるものと考えられる。小脳の発達にも関与している可能性がある。C-X-C ケモカイン CXCL12/SDF-1 の受容体。細胞内カルシウムイオン濃度を上昇させ、MAPK1/MAPK3 の活性化を促進することでシグナル伝達を行う (PubMed:10452968、PubMed:28978524、PubMed:18799424、PubMed:24912431)。AKT シグナル伝達カスケードに関与する (PubMed:24912431)。創傷治癒などの細胞移動の調節に関与する (PubMed:28978524)。細胞外ユビキチンの受容体として機能し、細胞内カルシウムイオン濃度の上昇と細胞内 cAMP 濃度の低下をもたらす (PubMed:20228059)。細菌性リポ多糖 (LPS) に結合し、LPS 誘導性の炎症反応 (単球による TNF 分泌を含む) を媒介する (PubMed:11276205)。造血および心室中隔形成に関与する。また、消化管の血管新生にも重要な役割を担っており、おそらく血管の分岐や内皮細胞のリモデリング過程を制御することで機能していると考えられる。小脳の発達にも関与する。中枢神経系では、海馬ニューロンの生存を媒介する可能性がある (類似性に基づく)。

研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用、ケモカイン、エンドサイトーシス、軸索ガイダンス、白血球経内皮遊走、IgA 産生のための腸管免疫ネットワーク。

画像データ



Jurkat 細胞溶解物中の CXCR4 発現のウェスタン プロット分析。